



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 山 本 英 樹
幹 事 三 宅 善 太 郎 会 報 委 員 長 奥 田 秀 行



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2340

2017-9-22

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL.(06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会 9月22日(第4例会)

- 3分間情報 上 敏郎会員
- 卓話 「放射線による影響」
放射線による人体への影響と高々度上空での核爆発があれば人間は生きられるか？
佐々木正治郎会員

次週のお知らせ 9月29日(第5例会)

- 卓話 「虐待の淵を生き抜いて
～人にも自分にもあたらぬ社会を目指して～」
(一財)児童虐待防止機構オレンジ CAPO
理事長 島田妙子様
(中谷佳正社会奉仕委員長担当)
- クラブフォーラム (社会奉仕)
13:40～15:00
シェラトン都ホテル大阪 3階 葛城の間
議題「児童虐待問題について」
- 食膳 <中国 円卓料理>

次々週のお知らせ 10月6日(第1例会)

- 卓話 「契約、折衝における誠実義務について」
遠田義昭会員

先週の記事 9月15日(第3例会)

- 出席報告
出席会員 41名 (内免除会員 10名)
会員総数 48名 (同上 16名)
ゲスト 3名
ビジター 0名

- 計 44名
ホームクラブ出席率 97.61%
9月1日(第1例会) 補正出席率 100% (MU2名)
- ゲスト&ビジター (敬称略)
水田雄晤 (卓話者)
前田慶子 (大阪東南前田義雄会員夫人)
テチアナ・セゾネンコ (米山奨学生)

◆ 会長の時間 ◆

大阪東南RC会長 井本喜代次様
城南ロータリークラブの皆様こんにちは、ただいま紹介いただきました東南ロータリークラブの井本でございます。

本日、城南様と東南の合同例会を開催していただき誠にありがとうございます。

私達東南ロータリークラブは、城南様の子クラブとして日頃何かとお目を掛けていただき此の場をお借りして東南を代表して御礼を申し上げます。

東南も発足して今年で33年を迎えますがまだまだ青年です。今期も始まったばかりで一年間頑張っ参りたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

本日は誠に有難う御座います。

大阪城南RC会長 山本英樹

本日は、大阪東南ロータリークラブの多くの仲間と合同例会が開催できたことにまず感謝いたします。短い時間ですが、互いに友情を深めることができればと思っております。

さて、本日の卓話は、観世流能楽師 シテ方準職分水田雄晤様に、「能楽のおもしろさ」と題してお話を頂きます。

今日朝に、パソコンで水田様を検索したところ、自己紹介の記事を発見いたしました。私自身は不勉強で、何か能楽というと、高尚で近寄りたいたいというイメージがございまして、まして能楽師の方となると遠い世界で、声をかけるのはばかられる気がしておりましたが、自己紹介によると、一番行ってみたいところ「イルカのいるきれいな海のある南国」と書かれており、急に親しみを覚えた次第です。水田様、後程卓話よろしくお願ひいたします。

卓話

9月15日 <第3例会>

「能楽のおもしろさ」

観世流能楽師 シテ方準職分水田雄晤氏



「能楽」の歴史を簡単にご説明いたします。6世紀中頃、中国より「雅楽」や雑多な大衆芸能である「散楽」が日本に伝来、現在でも宮内庁で継がれている「雅楽」に対し、日本古来の芸能と融合し民衆に広まった「散楽」はやがて平安中期に「猿楽」と名を変えます。鎌倉時代には農耕儀

9月は基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

礼を元とした「田楽」が流行し、僧侶達の法会後の宴で広まりました「延年」という寺院芸能も広まりました。それら「猿楽」「田楽」「延年」を踏まえて多種多様な芸能、歌・踊り・舞い・芸や技を集めた「能楽」の基のようなものが南北朝～室町初期に出来上がり、その後「観阿弥」「世阿弥」親子により集大成されたものが室町ミュージカル＝「能楽」です。そして時の権力者「足利義満」に認知され庇護されることで更に洗練された高度な舞台芸能へと発展して行きます。江戸時代は徳川幕府の式楽(公式な場で演じられる公認音楽)となりますが、明治維新で幕府が滅び庇護を頂けなくなり、「能楽」は下降線を辿るようになりました。その当時能楽を支えて頂いたのは、旧公家・旧藩主・高級官僚・豪商の方々です。この方々のご支援を頂きながら少しずつではありますが、「能楽」は回復して参りましたが、奇しくも第二次大戦の戦火とそれに続く混乱により、大切な資料、装束、能面等を焼失、紛失してしまいました。そのような大打撃を受けながらも先人の方々の懸命な努力により、能楽は再度蘇ります。

混乱の時代を潜り抜け、21世紀になり「能楽」界はようやく日の目を見ることとなります。「能楽」は2001年5月、ユネスコ本部より「人類の口伝及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、2008年11月無形文化遺産保護条約に基づく「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に初登録されました。

「後世に伝えるべき貴重な財産」と位置づけされた「能楽」は、650年前より今日まで脈々と途切れる事なく「親より子へ・子から孫へ・師匠から弟子へ」と口伝・口承で演じられ続けられている稀有な演劇です。

世界には650年以前に演じられた演劇は、星の数ほど存在しますが、それが現在まで一度も絶えず演じ続けられている演劇は「能楽」以外にありません。

次世代まで語り継ぐ貴重な財産として、「世界」はユネスコ無形文化遺産で認定第一号を受けた日本の「能楽」をととも注目しております。

本日、能の謡を口伝・口承いたしますので、能の謡の体験を契機にロータリーの皆様に「能楽」へご理解を賜り、又この機会を契機に更に日本の多くの方々が「能楽」を理解していただき、海外・世界へは、皆様のお力で「能楽」をお広め頂ければ幸甚でございます。

【水田雄晤氏のプロフィールご紹介】

プログラム委員長 三木敏裕

水田雄晤様は、1972年大阪のお生まれです。お父様は、能楽観世流シテ方の水田博様で、大学を出られ当初は、別の道を目指されていましたが、ご家庭の事情により、改めて平成6年に大槻文蔵氏の内弟子となられ、能楽を勉強されました。平成16年9月に観世宗家より、シテ方の準職分の認定を受けられました。

現在は、水田松韻会、萬代能楽塾を主催され、京阪神、四国を中心に舞台活動を幅広くされ、能の魅力を子供たちに伝える活動、神社での能の奉納活動、子・親・祖父母と三世代による謡の稽古をされています。また、東成こども能楽隊講師、城東区こども榎並座講師、奈良県川西小学校能楽教室講師、加古川こども能楽教室講師と八面六臂のご活躍です。



【報告&感想】

プログラム委員長 三木敏裕

結婚式でよく謡われます謡曲「高砂」の謡について、まず水田様が資料の全曲を謡われ、その後、一小節ごとに全員で「高砂」を謡い、最後に通して「高砂」の謡を全員で謡いました。その後、大阪東南RCより橋本友三会員、大阪城南RCより山本智重会員、浅井晃会員に舞台上上がって頂き、まず能の基本である体の構え、腕の構え、足の運びのすり足を実践して頂きました。そして実際に能面を付けて、すり足を体験して頂きました。能面の目を通して、内から外を見ると、まるで望遠鏡から覗いているように感じるとの感想でした。最後に水田様に「猩猩」の仕舞を、地は三木が担当して舞って頂きました。

にここ箱

9月15日(第3例会)

- 本日、城南様、東南との合同例会、宜しくお願ひ致します。

大阪東南RC 井本喜代次様

- 本日の合同例会は歴史的なものになりました。わたしたち東南RCの初めての女性会員を御紹介できるのを喜んでおります。田上会員におかれましては、この機会に親クラブの各会員と懇親を深められ、男性会員であるとか女性会員であるとか意識しないで、よきロータリアンとして、クラブならびにロータリーの活性化にご尽力いただきますようお願い申し上げます。

大阪東南RC 杉浦勝昭様

- 大阪東南ロータリークラブの皆様をお迎えして、合同例会を開催できたことに感謝致します。 山本(英)会員
- 東南RCの皆様、ようこそ。

岡部(泰)会員

- 東南RCの皆様、ようこそお越しくできました。 三宅会員
- 本日の卓話者に水田先生をお迎えしております。能楽の面白さをご実感してください。お一人でもお二人でも能楽に、興味を持っていただければ幸いです。

三木会員

(編集担当 宮田・山本(智))

会員増強にご協力を!!